

エンドポイントを探る

～統計の綾とサロゲートエンドポイント～

EBM の概念は歯科に限らず、医療界全体でも PC の普及と共に、ここ十数年の間に急速に広まってきました。検査、診断、治療、予後の過程において EBM は確かに必要不可欠です。しかし、この EBM の基礎となるデータが未熟だと、この EBM という言葉だけが、独り歩きしてしまいます。こと歯科領域においては、さまざまな因子が絡む複合疾患であるために、厳格なシステマティックレビューとなると、結論が明確に出ないことが多くなってしまう。このような現状で、私たちの日常臨床で重要なのは EBM に使われるのではなく、EBM をどう使っていくかを考えていくことが大切だと思います。本来 EBM は統計学を極めなければならないのですが、今回はあまり深入りせずに臨床に結び付けていきたいと思います。